

TELEC-T160

700 MHz帯で4.9 GHz帯を使用するシングルキャリア周波数分割多元接続方式は直交周波数分割多元接続方式携帯電話通信を行う基地局及びローカル5Gの基地局の兼用設備(700 MHz帯で4.9 GHz帯およびSC-FDMA又はOFDMA携帯電話通信基地局及びローカル5G基地局)の特性試験方法

第 6 章 令和6年9月30日

一級試験科目 テレコムエンジニアリングセンター

Table with 2 columns: 試験項目, 特 徴 事 項. Includes sections for 1. 試験対象の周波数帯域, 2. 電圧電流, 3. 時間的連続性, 4. 予備試験.

Table with 2 columns: 試験項目, 特 徴 事 項. Includes sections for 6. 周波数帯域の指定方法, 7. 周波数帯域の指定方法, 8. その他.

Table with 2 columns: 試験項目, 特 徴 事 項. Includes sections for 7. 周波数帯域の指定方法, 8. その他.

Table with 2 columns: 試験項目, 特 徴 事 項. Includes sections for 1. 試験対象の周波数帯域, 2. 電圧電流, 3. 時間的連続性, 4. 予備試験.

Table with 2 columns: 試験項目, 特 徴 事 項. Includes sections for 1. 試験対象の周波数帯域, 2. 電圧電流, 3. 時間的連続性, 4. 予備試験.

Table with 2 columns: 試験項目, 特 徴 事 項. Includes sections for 3. 周波数帯域の指定方法, 4. 周波数帯域の指定方法, 5. その他.

Table with 2 columns: 試験項目, 特 徴 事 項. Includes sections for 1. 試験対象の周波数帯域, 2. 電圧電流, 3. 時間的連続性, 4. 予備試験.

Table with 2 columns: 試験項目, 特 徴 事 項. Includes sections for 1. 試験対象の周波数帯域, 2. 電圧電流, 3. 時間的連続性, 4. 予備試験.

Table with 2 columns: 試験項目, 特 徴 事 項. Includes sections for 1. 試験対象の周波数帯域, 2. 電圧電流, 3. 時間的連続性, 4. 予備試験.

Table with 2 columns: 試験項目, 特 徴 事 項. Includes sections for 1. 試験対象の周波数帯域, 2. 電圧電流, 3. 時間的連続性, 4. 予備試験.

Table with 2 columns: 試験項目, 特 徴 事 項. Includes sections for 1. 試験対象の周波数帯域, 2. 電圧電流, 3. 時間的連続性, 4. 予備試験.

Table with 2 columns: 試験項目, 特 徴 事 項. Includes sections for 1. 試験対象の周波数帯域, 2. 電圧電流, 3. 時間的連続性, 4. 予備試験.

Table with 2 columns: 試験項目, 特 徴 事 項. Includes sections for 1. 試験対象の周波数帯域, 2. 電圧電流, 3. 時間的連続性, 4. 予備試験.

Table with 2 columns: 試験項目, 特 徴 事 項. Includes sections for 1. 試験対象の周波数帯域, 2. 電圧電流, 3. 時間的連続性, 4. 予備試験.

Table with 2 columns: 試験項目, 特 徴 事 項. Includes sections for 1. 試験対象の周波数帯域, 2. 電圧電流, 3. 時間的連続性, 4. 予備試験.



測定対象とする機器等の設置のつぎ	60-PDMA及びOPDMA基準
線形モード 線形モード 線形モード	線形モード 線形モード 線形モード
<b>3 送信機等の設置</b> (1) 送信機等の設置を停止し、試験用電波を連続受信する状態とする。 (2) 複数の空中線路子がある場合は、各空中線路子において受信する電波を設定する。	
<b>4 算出操作手順</b> (1) スペクトラムアナライザの設定を2 (2) とし、線形周波数帯内の副搬送射を探索する。 次に、以下の周波数範囲を動く。 注1: 使用する周波数帯域により、次のとおりとする。 (700MHz帯) 748MHz～813MHz (800MHz帯) 830MHz～904MHz (900MHz帯) 915MHz～975MHz (1.5GHz帯) 1.485MHz～1.525MHz (1.7GHz帯) 1.735MHz～1.800MHz (2GHz帯) 2.100MHz～2.180MHz (2.5GHz帯) 2.500MHz～2.440MHz (3.5GHz帯～3.7GHz帯) 3.56GHz～3.74GHz (4.5GHz帯～4.9GHz帯) 4.76GHz～5.04GHz (2) 探索した副搬送射の周波数の最大値が許容値以下の場合は、この最大値を決定値とする。 (3) 探索した副搬送射の周波数が許容値を超える場合は、スペクトラムアナライザの中心周波数の設定精度を高めるため、線形周波数帯を100MHz、10MHz、1MHzというように分割周波数帯幅の10段階まで細かくして副搬送射の周波数を求める。 (4) スペクトラムアナライザの測定値を2 (2) とし、副搬送射の周波数の平均値(パース)値の場合はパース(内平均電力)を求め、決定値とする。 (5) 複数の空中線路子がある場合は、各空中線路子において測定する。	
<b>5 周波数の検出</b> 周波数の異なる電波の周波数の最大の測定値を測定値として周波数とともに、検出基準で決定する単位で表示する。	
<b>6 測定精度</b> (4.4) において、受信電波の副搬送射がパース前に検出される場合は、副搬送射のパース(内平均電力)を定める。	